

2023年6月26日

各位

会社名 日本電解株式会社
代表者名 代表取締役社長 CEO 中島英雅
(コード番号:5759 東証グロース)
問合せ先 執行役員財務担当 松崎 靖秋
Email ir_team@nippon-denkai.co.jp

(訂正)「決算説明資料 2022 年度期末決算」の一部訂正について

2023年5月10日に開示いたしました「決算説明資料 2022 年度期末決算」の記載内容の一部に訂正すべき事項がありましたので、以下の通り、お知らせいたします。

記

1. 訂正の理由

「決算説明資料 2022 年度期末決算」の記載内容に一部訂正すべき事項があり、訂正を行うものです。

2. 訂正箇所

- 決算説明資料 設備投資実績(12 ページ)
 - 実績推移

		訂正前	訂正後	
FY2021	日本電解及び Den kai America 既存設備	734	770	(百万円)
	Den kai America 既存工場製造ライン改造	1,193	1,083	
	米国新工場 製箔設備費用	629	687	
	合計	2,556	2,541	
FY2022	Den kai America 既存工場製造ライン改造	2,331	2,337	
	米国新工場 製箔設備費用	3,318	3,063	
	合計	6,273	6,026	

- 2022 年度 内訳

		訂正前	訂正後	
	Den kai America 車載電池用銅箔生産設備への改造	2,331	2,337	(百万円)
	米国新工場 製箔設備費用	3,318	3,063	
	Den kai America 合計	5,705	5,457	
	合算	6,273	6,026	

● 決算説明資料 四半期別 営業利益の推移(16 ページ)

主な増減要因 最下部

訂正前	米国新工場
訂正後	米国既存工場

訂正後の「決算説明資料 2022 年度期末決算」は別紙の通りです。

以上



決算説明資料

2022年度 期末決算

日本電解株式会社

2023年5月10日





Table of Contents

1. 2022年度 期末決算サマリー
2. 2022年度 決算内容
3. 2023年度 業績見通し
4. 参考資料





Table of Contents

1. **2022年度 期末決算サマリー**
2. 2022年度 決算内容
3. 2023年度 業績見通し
4. 参考資料





■ 厳しい販売環境により、売上高は前期比 $\triangle 17.1\%$ 減

- 車載電池用銅箔：主要顧客におけるシェアダウン、半導体供給不足の長期化による受注減
- 回路基板用銅箔：中国をはじめ、世界的なスマートフォン需要が低迷し受注減

■ 生産数量は前期比 $\triangle 28.6\%$ 減, 8,520トン

■ 営業利益は $\triangle 1,611$ 百万円の赤字

- 販売量・生産量減少によるコスト上昇
- エネルギー価格高騰による生産コスト上昇
- 米国新工場の検討過程で発生した弁護士やコンサルタントの報酬を費用認識したことにより
営業費用が増加

2022年度 業績サマリー



- 厳しい販売環境により、売上高は前期比 $\Delta 17.1\%$ 減
- 生産数量は前期比 $\Delta 28.6\%$ 減、8,520ト
- 営業利益は $\Delta 1,611$ 百万円の赤字

(単位：百万円)

	2021年度 通期	2022年度 通期	前年差	増減率
売上高	20,558	17,047	$\Delta 3,510$	$\Delta 17.1\%$
うち 車載電池用銅箔	13,589	11,316	$\Delta 2,272$	$\Delta 16.7\%$
うち 回路基板用銅箔	6,969	5,730	$\Delta 1,238$	$\Delta 17.8\%$
営業利益	1,004	$\Delta 1,611$	$\Delta 2,616$	—*
経常利益	976	$\Delta 1,840$	$\Delta 2,816$	—*
親会社株主に帰属する当期純利益	848	$\Delta 1,933$	$\Delta 2,782$	—*
生産数量 (ト)数	11,936	8,520	$\Delta 3,416$	$\Delta 28.6\%$

* 上記の表では「端数切捨て」で表示を統一しております。なお比率の数値は、1円単位で計算しておりますので端数処理後の数値とは結果が一致しないことがあります。

赤字と黒字の比較となるため、増減率の表示を省略しております。

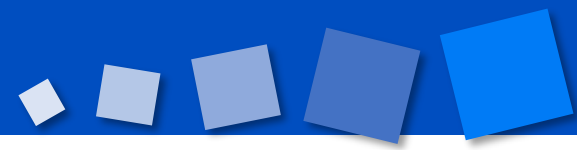


Table of Contents

1. 2022年度 期末決算サマリー
- 2. 2022年度 決算内容**
3. 2023年度 業績見通し
4. 参考資料



2022年度 要約損益計算書



- 売上高は前期比△17.1%減：主要顧客におけるシェアダウン、半導体供給不足の長期化により販売が低迷
- 営業利益は、エネルギー価格の高騰、米国新工場の検討過程で発生した弁護士やコンサルタント報酬の費用認識により、営業費用が増加

(単位：百万円)

	2021年度 通期	2022年度 通期	前年差	増減率
売上高	20,558	17,047	△ 3,510	△ 17.1%
売上原価	18,527	16,943	△ 1,584	△ 8.6%
売上総利益	2,030	104	△ 1,926	△ 94.9%
売上総利益率 (%)	9.9%	0.6%	△ 9.3p	—
販売費及び一般管理費	1,025	1,715	690	67.3%
販管費比率 (%)	5.0%	10.1%	5.1 p	—
営業利益	1,004	△ 1,611	△ 2,616	—*
営業利益率 (%)	4.9%	△ 9.5%	△ 14.4p	—
減価償却費	1,274	1,240	△ 33	△ 2.6%
EBITDA	2,278	△ 371	△ 2,649	—*
EBITDAマージン (%)	11.1%	△ 2.2%	△ 13.3p	—

* 上記の表では「端数切捨て」で表示を統一しております。なお比率の数値は、1円単位で計算しておりますので端数処理後の数値とは結果が一致しないことがあります。

赤字と黒字の比較となるため、増減率の表示を省略しております。

YoY損益差異内訳



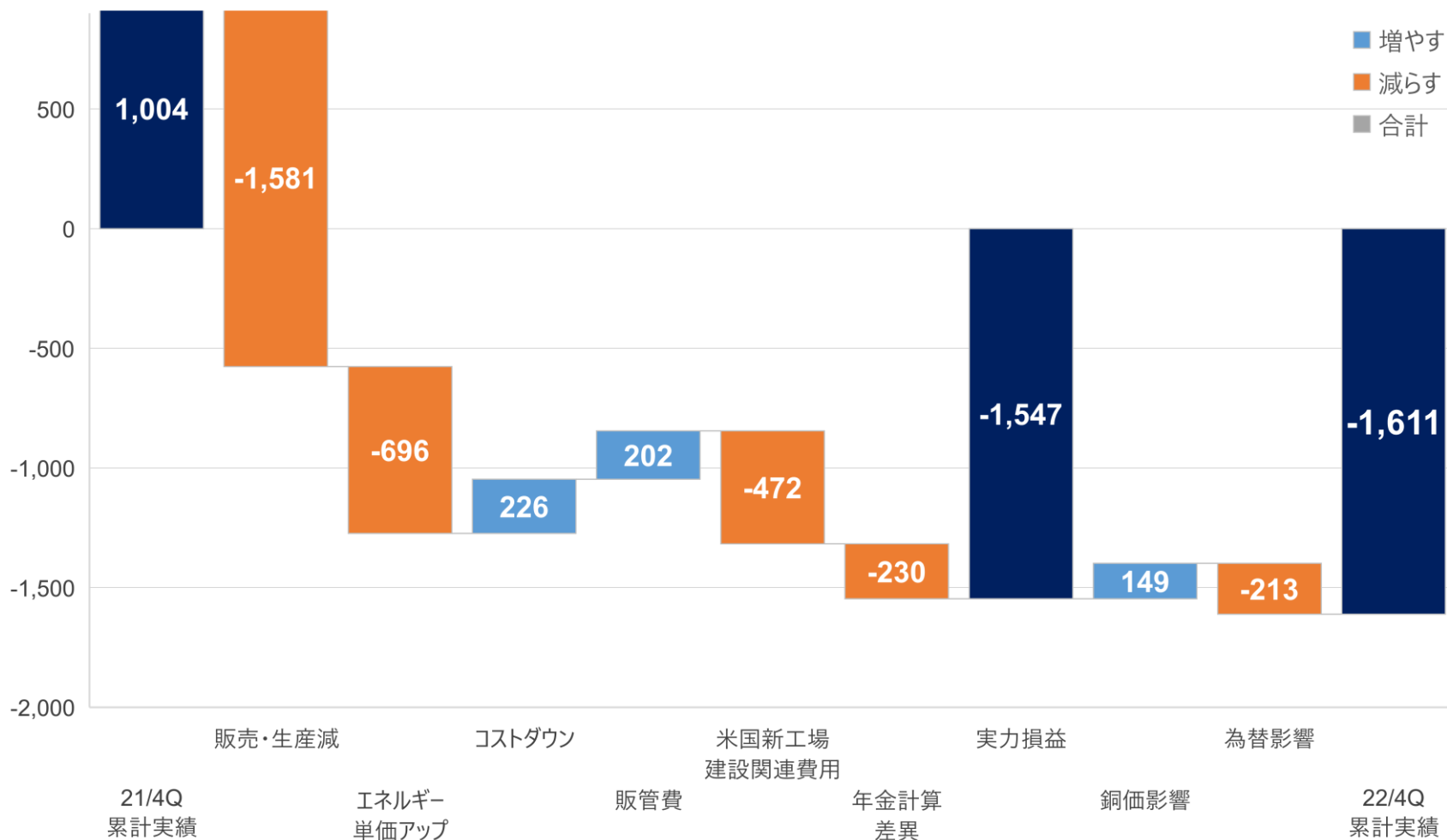
(単位：億円)

		日本	米国	連結調整	連結
2021年度 営業利益		9	△1	2	10
差異 内容	売上・生産減	△10	△6		△16
	エネルギー単価アップ	△7			△7
	米国新工場建設関連費用		△5		△5
	為替影響		△2		△2
	コストダウン	3	2		5
	銅価影響	1			1
	その他			△2	△2
	差異計	△13	△11	△2	△26
2022年度 営業利益		△4	△12	0	△16

YoY営業利益増減要因



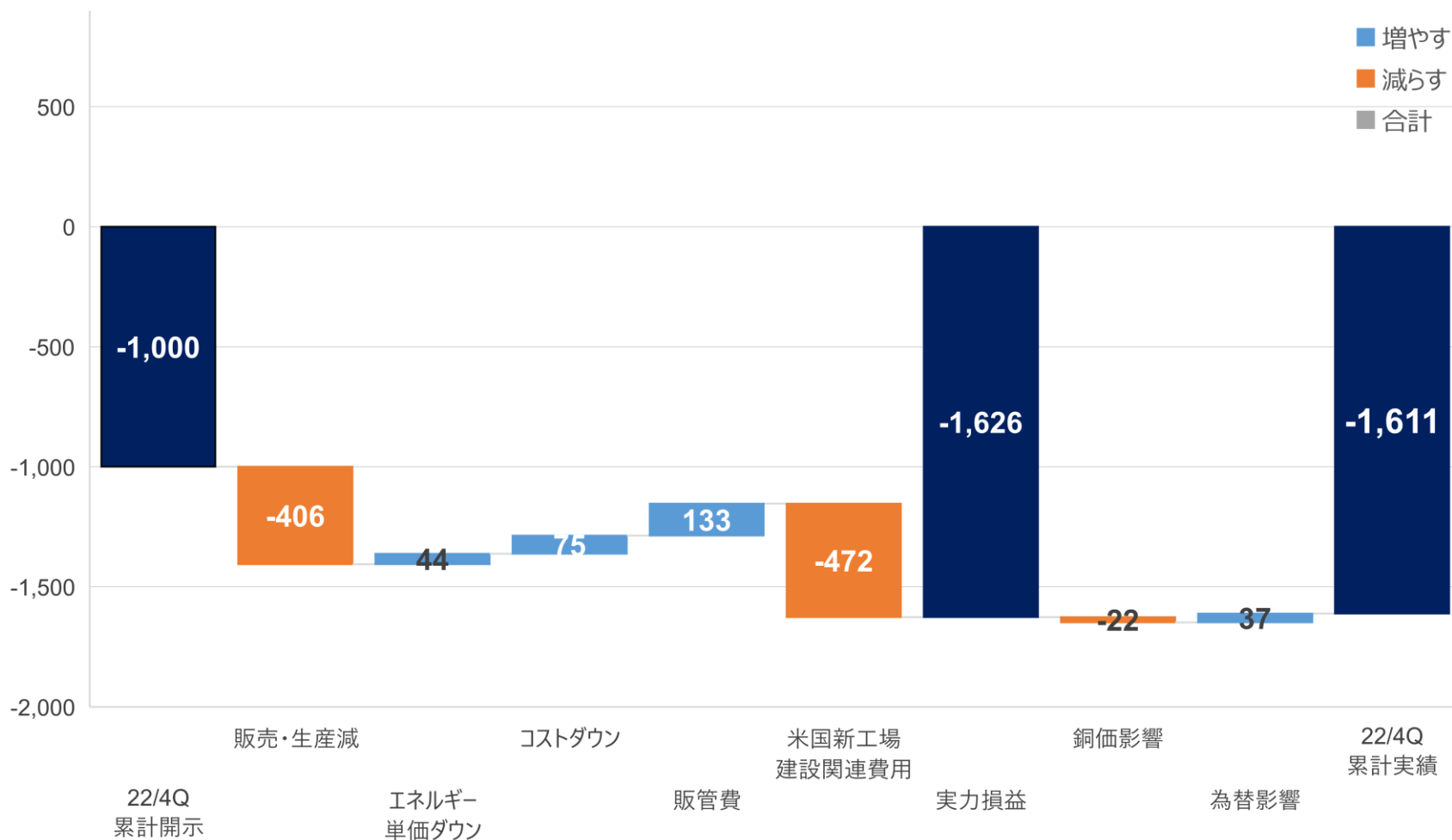
(単位：百万円)



2022年度 営業利益 見込と実績対比



(単位：百万円)



2022年度 財政状況



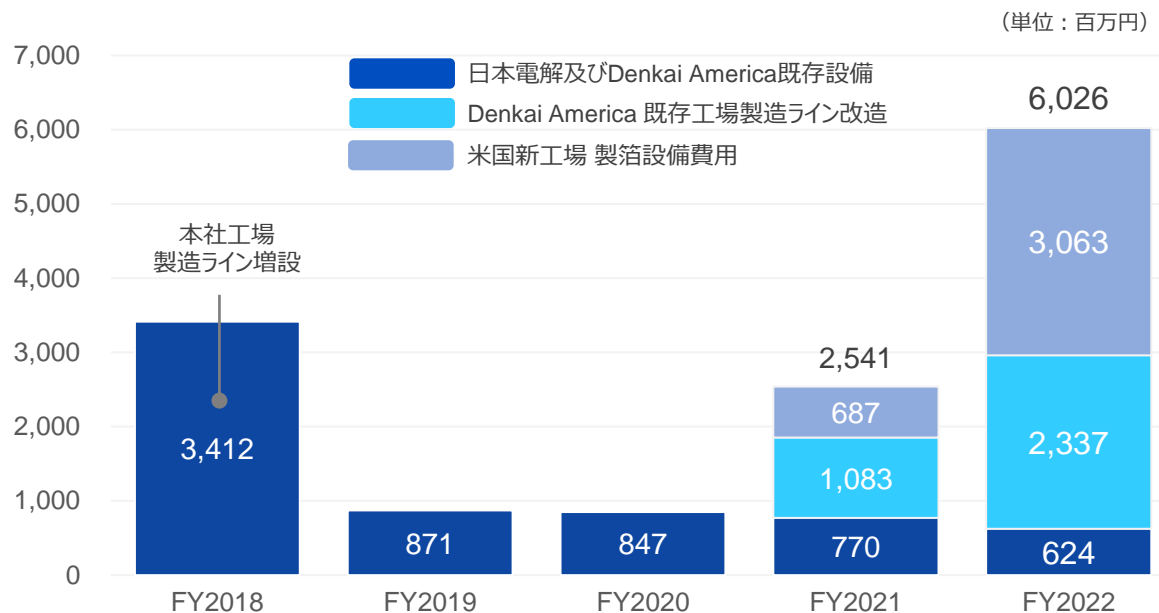
- 純資産は新株予約権行使による新株発行などにより1,692百万円増加、自己資本比率は0.9ポイント上昇
- ネット有利子負債は短期借入金増加などにより2,431百万円の増加

(単位：百万円)

	FY2021	FY2022	前年差	増減率
総資産額	18,034	22,678	4,644	25.8%
純資産額	5,755	7,447	1,692	29.4%
自己資本比率 (%)	31.9%	32.8%	+ 0.9P	—
有利子負債	8,866	12,377	3,510	39.6%
うち 短期借入金	800	5,000	4,200	525.0%
うち 1年内返済予定の長期借入金	958	1,358	400	41.7%
うち リース債務 (短期)	20	20	0	△ 0.6%
うち 長期借入金	6,831	5,762	△ 1,069	△ 15.7%
うち リース債務 (長期)	256	235	△ 20	△ 8.0%
現金及び預金	2,500	3,579	1,078	43.1%
ネット有利子負債	6,366	8,797	2,431	38.2%

設備投資実績

●実績推移



●2022年度 内訳

(単位：百万円)

投資目的	日本電解	Denkai America	合 算
維持保守	251	56	307
設備改良	303	—	303
研究開発用機器導入	14	—	14
Denkai America 車載電池用銅箔生産設備への改造	—	2,337	2,337
米国新工場 製箔設備費用	—	3,063	3,063
合 計	568	5,457	6,026



Table of Contents

1. 2022年度 期末決算サマリー
2. 2022年度 決算内容
- 3. 2023年度 業績見通し**
4. 参考資料



2023年度 業績見通し

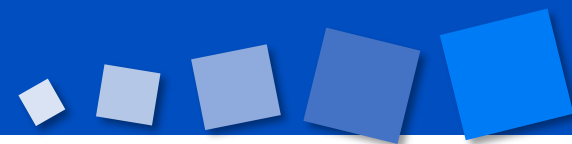


(単位：百万円)

	FY2022 実績	FY2023 見通し	増減額	増減率
売上高	17,047	20,600	3,553	20.8%
うち 車載電池用銅箔	11,316	14,800	3,484	30.8%
うち 回路基板用銅箔	5,730	5,800	70	1.2%
営業利益	△ 1,611	△ 600	1,011	—
経常利益	△ 1,840	△ 1,100	740	—
親会社株主に帰属する 当期純利益	△ 1,933	△ 1,100	833	—
EBITDA	△ 371	800	1,171	—
生産数量 (トナ数)	8,520	10,400	1,880	22.1%

<参考> 業績見通しの前提

	FY2022 実績	FY2023 見通し
銅相場価格 :	1,209円/Kg	1,250円/Kg
為替 (\$/¥ 期中平均) :	@ 135.51	@ 130.00



日本電解

- **車載電池用銅箔：**
 - 既存顧客向け受注増加（Q1以降）
 - 高容量LIB用素材供給開始（Q2以降）
- **回路基板用銅箔：**
 - 国内新規顧客向け販売開始（Q4以降）

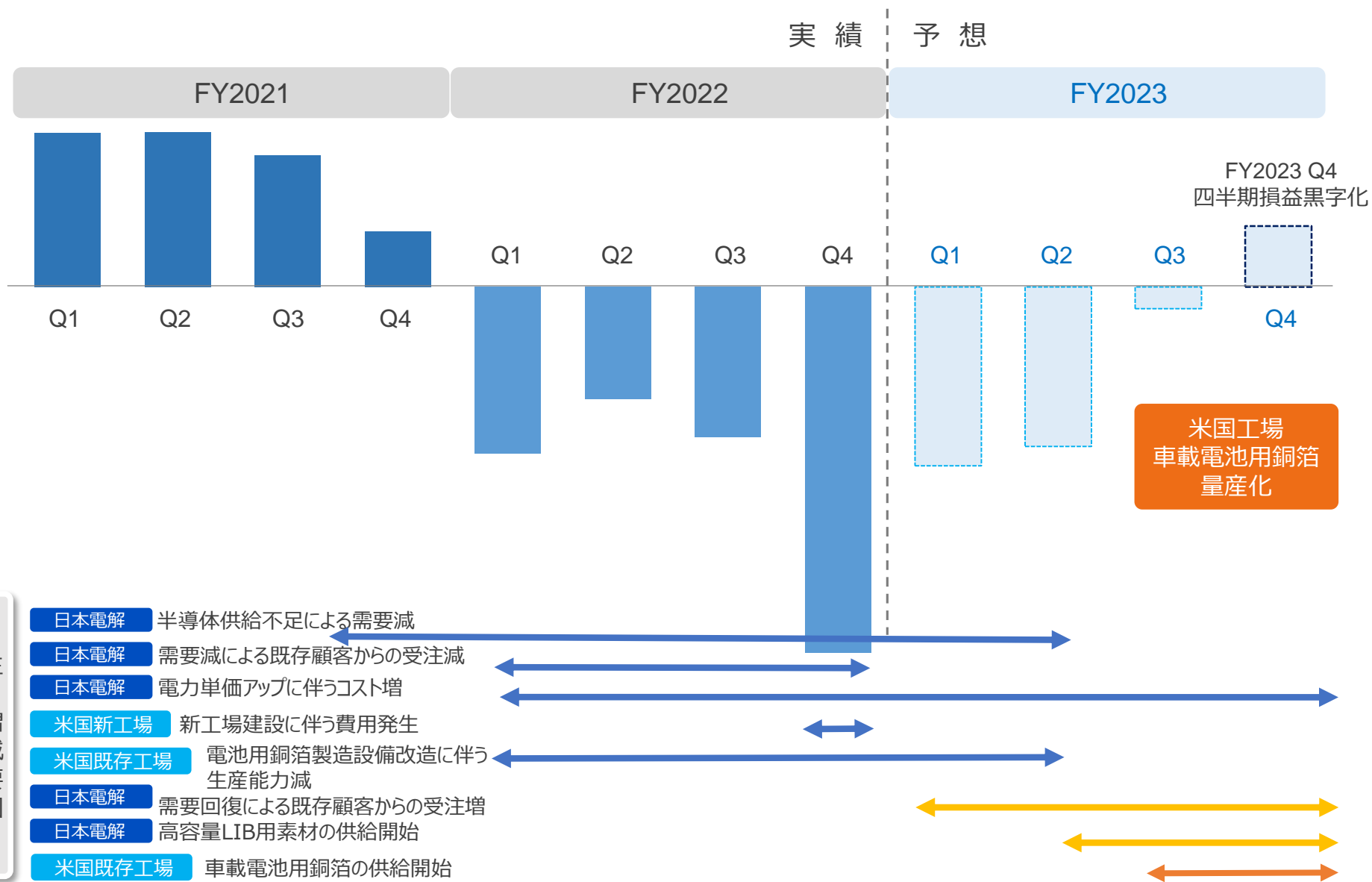
Denkai America

- **車載電池用銅箔：**製造ライン量産開始（Q3以降）
- **回路基板用銅箔：**既存顧客向け受注増加（Q1以降）

共通要因

- 日本製銅箔の米国基板メーカー向け販売拡大（Q1以降）

四半期別 営業利益の推移



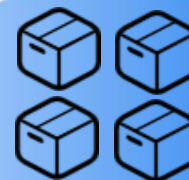
米国工場 既存設備改造 進捗状況



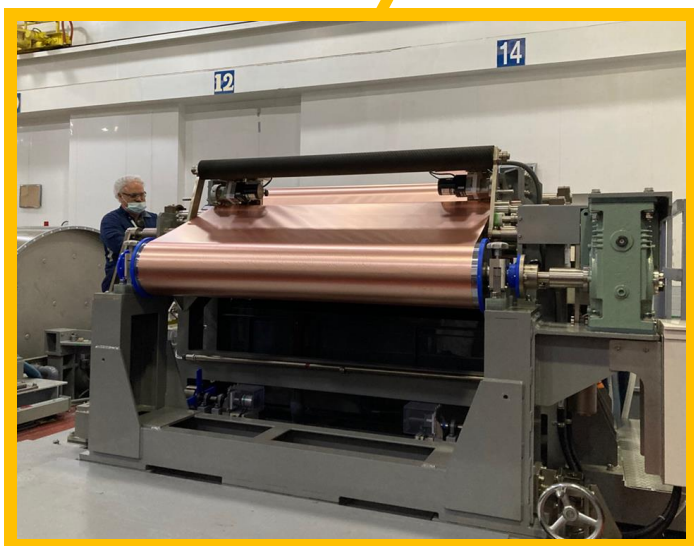
2023年5月
竣工



2023年夏
サンプル試作
開始



2023年下期
製品供給
開始



写真：試運転の様様

- ◆ **所在地**
米国サウスカロライナ州 カムデン工場内
- ◆ **設備投資額**
26百万USD
- ◆ **生產品種/生産能力**
車載電池用銅箔 / 年産 1,200トン
- ◆ **製品供給先**
米国内大手電池メーカー

2023年度 第1四半期 決算発表予定



決算発表予定

2023年8月9日 (水)





Table of Contents

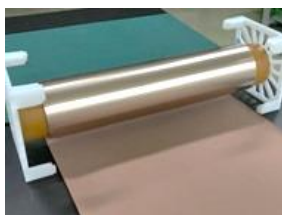
1. 2022年度 期末決算サマリー
2. 2022年度 決算内容
3. 2023年度 業績見通し
4. **参考資料**



回路基板用銅箔

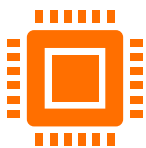
HL・Seed箔

密着性・低損失・高強度



用途

フレキシブルプリント配線板、
半導体パッケージ基板



主要最終製品



5Gスマートフォン



5G通信
基地局 等

車載電池用銅箔

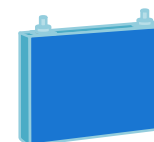
YB箔

高引っ張り強さ、高伸び率



用途

リチウムイオン二次電池 (LIB)



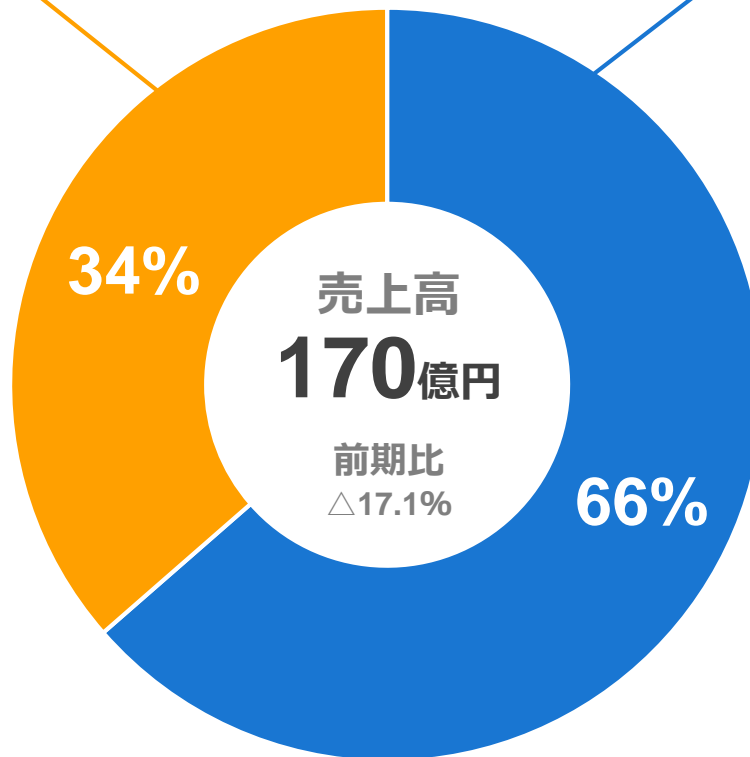
主要最終製品



EV



HV



EBITDA¹ △3億円
EBITDAマージン △2.2%

¹ EBITDAは、営業利益に減価償却費等を足して算出しております。

経営成績推移



FY2021

FY2022

(単位：百万円)

	FY2021				FY2022				前年同期比
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	
売上高	4,895	5,176	5,397	5,088	4,419	4,356	3,941	4,329	△ 759
うち 車載電池用銅箔	3,274	3,381	3,463	3,469	2,729	2,965	2,769	2,851	△ 617
うち 回路基板用銅箔	1,621	1,794	1,933	1,619	1,690	1,390	1,172	1,477	△ 141
売上原価	4,329	4,599	4,860	4,737	4,426	4,252	3,923	4,340	△ 397
売上総利益	566	576	536	351	(7)	103	18	(10)	△ 361
売上総利益率 (%)	11.6%	11.1%	9.9%	6.9%	-0.2%	2.4%	0.5%	-0.2%	-
販売費及び一般管理費	255	263	269	237	330	332	322	730	493
販管費比率 (%)	5.2%	5.1%	5.0%	4.7%	7.5%	7.6%	8.2%	16.9%	-
営業利益	311	313	266	113	(337)	(228)	(304)	(741)	△ 855
営業利益率 (%)	6.4%	6.0%	4.9%	2.2%	-7.6%	-5.2%	-7.7%	-17.1%	-
経常利益	283	322	268	101	(318)	(264)	(471)	(784)	△ 886
当期純利益	196	242	192	216	(294)	(315)	(384)	(939)	△ 1,155
減価償却費	303	314	318	337	307	310	314	308	△ 28
EBITDA	614	627	585	451	(29)	81	9	(432)	△ 883
EBITDAマージン (%)	12.6%	12.1%	10.8%	8.9%	-0.7%	1.9%	0.2%	-10.0%	-
生産トン数	3,053	3,181	3,073	2,627	2,074	2,172	2,345	1,928	△ 699

2022年度 連結キャッシュ・フロー計算書



2022年度の現金及び現金同等物は、1,078百万円の資金増加

- 営業活動によるキャッシュ・フローは、減価償却費1,255百万円、売上債権の減少834百万円、棚卸資産の減少771百万円等により税引前当期純損失を吸収、697百万円の資金増加
- 投資活動によるキャッシュ・フローは、米国工場の車載電池用銅箔製造ライン設置工事、米国新工場にかかる製箔設備等の有形固定資産の取得による支出6,578百万円により6,495百万円の資金減少
- 財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の増加4,200百万円、新株式の発行3,373百万円、長期借入金の返済958百万円等により、6,606百万円の資金増加

(単位：百万円)

	FY2021	FY2022
営業活動によるキャッシュ・フロー	217	697
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,191	△ 6,495
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,706	6,606
現金及び現金同等物に係る換算差額	106	270
現金及び現金同等物の増減額	838	1,078
現金及び現金同等物の期首残高	1,662	2,500
現金及び現金同等物の期末残高	2,500	3,579

サステナビリティの取り組み

Environment

xEVの普及で、脱炭素社会の実現へ。
当社では、車載電池用銅箔の供給及び高品質化を通じ、車載用リチウムイオン電池とxEVの普及に寄与し、**脱炭素社会、持続可能な社会の実現に貢献**いたします。

取り組みを通じて特に貢献可能なSDGsの目標



当社グループの銅材料は、**リサイクル銅100%**を使用しています。
当社グループは、製造過程で発生する銅箔屑もリサイクルしています。



取り組みを通じて特に貢献可能なSDGsの目標



Social

パトラン活動

安心安全な街づくり/社員の健康維持・増進

毎月2回茨城県筑西市内で防犯と清掃活動を目的としたパトラン（パトロールランニング）を実施しております。

取り組みを通じて特に貢献可能なSDGsの目標



Governance

指名・報酬委員会の設置

2022年2月、取締役会で選ばれた取締役3名（うち過半数は独立の社外取締役）で構成する「指名・報酬委員会」を設置しました。
この「指名・報酬委員会」は、取締役会の諮問を受け、取締役の選任・解任に関する事項、代表取締役の選定・解職に関する事項のほか、監査等委員ではない取締役の報酬等に関する事項等について審議を行った上で取締役会に答申を行います。

取り組みを通じて特に貢献可能なSDGsの目標



この資料の取扱いについて

本資料は、日本電解株式会社（以下「当社」といいます）及びその連結子会社の企業情報等の提供のみを目的として作成されたものであり、日本、米国、その他の地域における有価証券の販売の勧誘や購入の勧誘を目的としたものではありません。

本資料には、現在の予定、推定、見込または予測に基づく将来に関する記述が含まれています。この将来に関する記述は、本資料発表日現在において利用可能な情報をもとに、当社経営者が判断した内容に基づいております。将来に関する記述には様々なリスクや不確実性があり、様々な要因の変化等により、この資料に記載の内容またはそこから推測される内容と大きく異なることがありますことをご了承ください。



日本電解株式会社
Nippon Denkai, LTD.